

中野こども病院から患者保護者の皆様へ“今知ってほしい”情報を発信します

溶連菌感染症が流行中です！



溶連菌感染症(A群溶血性レンサ球菌咽頭炎)ってどんな病気？

A群溶血性連鎖球菌の感染によって起こる化膿性疾患です。学童期の子どものものでや扁桃に感染し、咽頭炎や扁桃炎を起こします。

症状は？どうやってうつるの？

主な症状はのどの痛み、発熱ですがかゆみのある発疹を伴うこともあります。のどは真っ赤に腫れます。感染経路は飛沫、および接触感染です。家族内やクラスで流行しやすいです。予防するには手洗いとうがいがあります。

治療方法は？

抗生剤の内服を1週間から10日間続けます。ペニシリン系が第一選択ですが、ペニシリンアレルギー患者にはセフェム系も効果があります。治療開始後速やかに解熱し、のどの痛みも和らぎますが、治療を中断すると再燃しやすいためきちんと最後まで抗生剤を飲み切ることが重要です。

気を付けなければならない症状は？

溶連菌感染症後には様々な合併症がみられます。最も多いのは急性糸球体腎炎で尿が出なくなり、むくみがみられます。また血圧が上がるため激しい頭痛を訴えることがあります。溶連菌感染症にかかった3~4週間後に発症することが多く、この時期は要注意です。またIgA血管炎という紫斑や腹痛、関節痛を症状とする疾患もみられることがあります。子どもだけでなく大人にも感染することがあります。

※かかったあとに注意が必要な感染症です。気になることがあれば医療機関を受診しましょう。

食中毒に注意しましょう！！

食中毒予防の3原則

原因菌をつけない・増やさない・やっつける

1. つけない

原因菌やウイルスをつけないために料理前やトイレ後、動物を触ったあとは必ず手洗いをしましょう。調理の際には生肉や魚を切った後のまな板で次に調理することがないように生で食べるものから先に調理すれば安心です。

2. 増やさない

食べ物に付着した菌を増やさないためには低温で保存をしましょう。10℃以下で増殖がゆっくりになり、-15℃で増殖が停止します。冷蔵庫に入れても菌はゆっくり増殖していますので過信は禁物です。

3. やっつける

ほとんどの細菌やウイルスは加熱によって死滅しますので、台所用品にも熱湯消毒が有効です。料理では75℃で1分以上が目安です。特に肉料理は中心までよく加熱しましょう。

当院の流行状況

手足口病の患者さんが依然として多数報告されています。

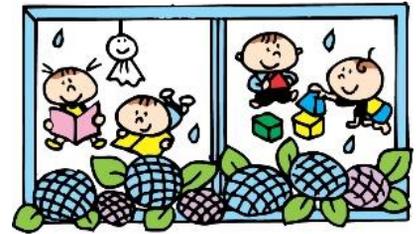
溶連菌(A群溶血性連鎖球菌)が多数検出されています。

ロタウイルスが検出されています。食中毒の原因でもあるカンピロバクターが検出されており注意が必要です。





6月の製作内容です。
この中から自由に選んでもらい制作しています。



当院を受診される患者保護者様へ

- 駐輪場が病院北側にあります。自転車で来院の際はご利用ください。
- お車で来院される際は、病院南側の立体駐車場をご利用ください。病院受診時や面会時にも無料にご利用いただけます。詳細は常駐している警備員にお声かけください。近隣のご迷惑になりますので路上駐車は絶対におやめください。
- 病院本館東側に車寄せがあります。患者様の乗り降ろしや、入院時の荷物の運搬やお迎えなどにご利用ください。なお、長時間の駐車はご遠慮ください。
- 待合の椅子には限りがあります。子どもたちが座れないことがないように、混雑時は譲り合っておかけ下さい。少しでも待合に多くの患者様が座って頂けるよう、ご協力宜しくお願い致します。
- 当院は全館禁煙、敷地内も禁煙となっております。病院の外で喫煙されても煙が病院内に入ってくることもありますので、病院周辺での喫煙もご遠慮ください。また、たばこのポイ捨ても絶対にしないでください。病気で来ている子どもたちのためにもご協力よろしくお願い致します。
- 診察、検査、処置が終わるまで飲食はご遠慮ください。もどしたり、咳込みの原因になります。